



Press Release

報道関係者各位

2022年11月1日
株式会社フリーウェイジャパン

中小企業／零細企業の従業員・代表取締役350人を対象
冬のボーナス、支給済／支給予定が53.0%で昨年から5.8ポイント上昇
「2022年度 冬のボーナス実態調査」
昨年度の冬のボーナスと比べて支給額が増加した方が55.0%
ボーナスの使い道としては「預金・貯蓄」が35.4%、ボーナスを貯蓄に回す傾向が強まる

株式会社フリーウェイジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役：井上達也、以下フリーウェイジャパン）は、中小企業/零細企業の従業員198人、ならびに代表取締役152人を対象とした、冬のボーナスに関する調査を実施しました。以下が調査結果となります。

※本リリース内容の転載にあたりましては、出典として「**フリーウェイジャパン調べ**」とご記載いただけますようお願い申し上げます。

<調査結果サマリー>

TOPICS① 中小零細企業の冬のボーナス、支給済／支給予定が53.0%

◇中小零細企業の冬のボーナス、支給済／支給予定が53.0%

昨年と比較して5.8ポイントの上昇で支給率が増加

2022年度の冬のボーナス支給について聞いたところ、「支給された」が3.5%、「まだ支給されていないが、支給される予定で支給額も把握している」が20.7%、「支給される予定だが、支給される金額は分からない」が28.8%となり、支給予定者は全体の53.0%に上った。また「支給されなかった/支給される予定は無い」は39.9%、「未定」が7.1%という結果になった。

◇支給額は「20万円～30万円未満」「40万円～50万円未満」が最も多い結果に

ボーナスが支給される予定の従業員に支給額を聞いたところ、最多回答は「20万円～30万円未満」と「40万円～50万円未満」が同率1位で20.8%であった。次いで「10万円～20万円未満」が16.7%、「50万円～60万円未満」が14.6%と続いた。昨年冬のボーナスのボリュームゾーンが「10万円～20万円未満」であったのに対して、全体として金額は増加傾向にあることが明らかになった。

TOPICS② ボーナス支給額増加の理由、86.4%が「会社の業績が上がった」と回答

◇冬のボーナス支給者、金額に納得している人が35.4%と多数

冬のボーナスの支給額に対する評価について聞いたところ、「納得している」が最多の35.4%、「やや納得している」が27.1%と、全体の過半数が今年の支給額に納得していることが分かった。その他「どちらともいえない」が16.7%、「あまり納得していない」が14.6%、「納得していない」が6.3%と続いた。

◇**昨年の冬より支給額が増加した／増加する人は55%と、過半数が増加傾向に**

昨年の冬との増減について聞いたところ、「全体的に増加した・増加する」が55.0%と、過半数が増加したことが明らかに。次点で「変わらない」が32.5%、「全体的に減少した・減少する」が12.5%という結果になった。

◇**支給額が上がった理由として、「会社の業績が上がったから」が最多の86.4%**

昨年の冬と比較してボーナス支給額が増加したと回答した方にその理由を聞いたところ、「会社の業績が上がったから」が86.4%で最多となった。次点で「業務効率・利益効率が上がったから」が18.2%、「その他（自由記述）」が9.1%、「人員整理を行いコストカットを実施したから」は0%という結果になった。「その他（自由記述）」については「人員確保のため」や「従業員の増加に伴って作業効率が上がったため」などの回答があった。

◇**ボーナスの使い道、「預金・貯蓄」が最多の35.4%**

「生活費」が40.7%で最多となった昨年冬のボーナスと比較して、貯蓄の傾向が強まる

冬のボーナスの使い道について聞いたところ、最多は「預金・貯金」で35.4%となり、「生活費」が40.7%で最多となった昨年度の冬のボーナス調査と比較して、ボーナスを貯蓄に回す傾向が強まっていることが分かった。次点で「生活費」の20.8%、「借金・ローンなどの返済」が12.5%、「趣味・娯楽」が10.4%と続いた。

TOPICS③ 来年夏のボーナスの支給見込み、見通しが立っていない経営者が47.4%

◇**来年夏のボーナスの支給見込み、経営者の47.4%が立っていない**

経営者に対して来年度の支給見込みについて聞いたところ、「立っていない」の回答が最多の47.4%。次いで「わからない」が33.5%、「立っている」の回答が19.1%となった。

■ **調査概要**

調査タイトル : 冬のボーナスに関する実態調査

調査方法 : インターネットリサーチ

調査期間 : 2022年10月5日～10月11日

調査対象 : 中小企業/零細企業の従業員198人、代表取締役152人

【出典について】

本調査内容を転載される場合は、出典が株式会社フリーウェイジャパンであることを明記くださいますよう、お願いいたします。

<調査結果詳細>

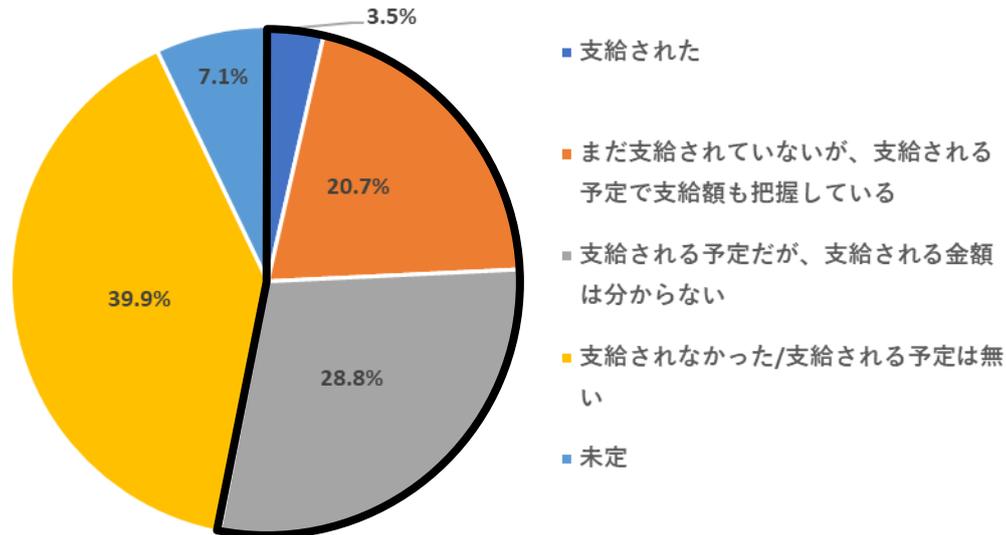
TOPICS① 中小零細企業の冬のボーナス「支給予定あり/支給済み」が26.3%

◇中小零細企業の冬のボーナス、支給済/支給予定が53.0%

昨年と比較して5.8ポイントの上昇で支給率が増加

Q1. 冬のボーナスは支給されましたか？または支給予定はありますか？（SA）

（n=198/対象=従業員）

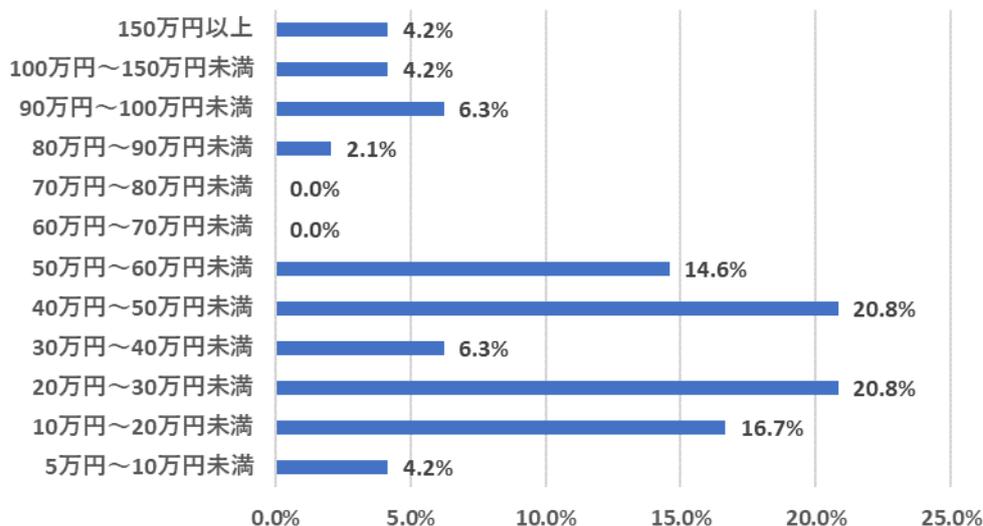


2022年度の冬のボーナス支給について聞いたところ、「支給された」が3.5%、「まだ支給されていないが、支給される予定で支給額も把握している」が20.7%、「支給される予定だが、支給される金額は分からない」が28.8%となり、支給予定者は全体の53.0%に上った。また「支給されなかった/支給される予定は無い」は39.9%、「未定」が7.1%という結果になった。

◇支給額は「20万円～30万円未満」「40万円～50万円未満」が最も多い結果に

Q2. 支給額はいくらですか？（SA）

対象：Q1について「支給された」「まだ支給されていないが、支給される予定で支給額も把握している」と回答した方（n=48）



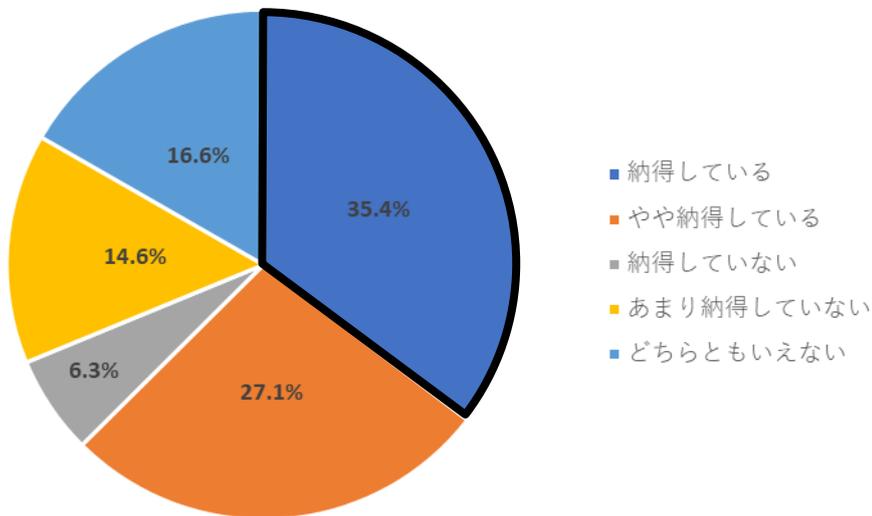
ボーナスが支給される予定の従業員に支給額を聞いたところ、最多回答は「20万円～30万円未満」と「40万円～50万円未満」が同率1位で20.8%であった。次いで「10万円～20万円未満」が16.7%、「50万円～60万円未満」が14.6%と続いた。昨年冬のボーナスのボリュームゾーンが「10万円～20万円未満」であったのに対して、全体として金額は増加傾向にあることが明らかになった。

TOPICS② ボーナス支給額増加の理由、86.4%が「会社の業績が上がった」と回答

◇冬のボーナス支給者、金額に納得している人が35.4%と多数

Q3. 支給額に対する評価をお答えください。(SA)

対象：Q1について「支給された」「まだ支給されていないが、支給される予定で支給額も把握している」と回答した方 (n=48)

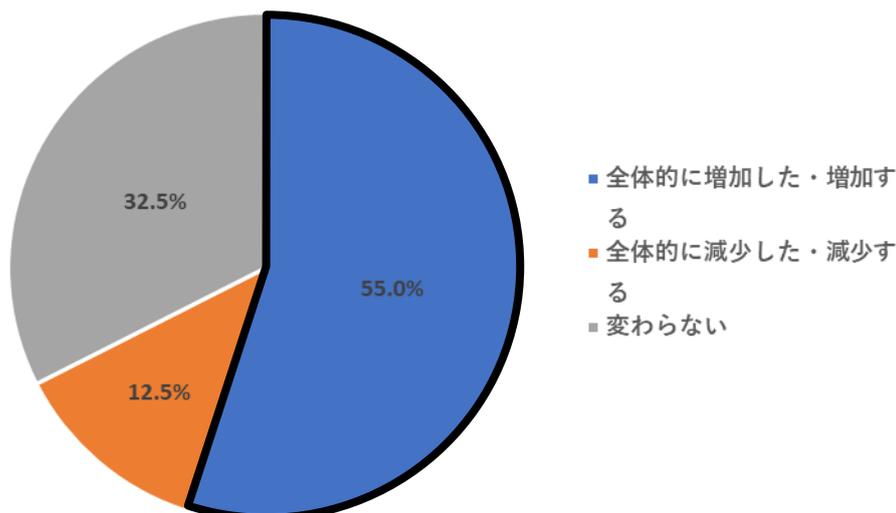


冬のボーナスの支給額に対する評価について聞いたところ、「納得している」が最多の35.4%、「やや納得している」が27.1%と、全体の過半数が今年の支給額に納得していることが分かった。その他「どちらともいえない」が16.6%、「あまり納得していない」が14.6%、「納得していない」が6.3%と続いた。

◇昨年冬のボーナスが増加した／増加する人は55%で過半数が増加傾向に

Q4. 昨年冬のボーナスと比べて増減はありましたか？ (SA)

(n=40／対象=代表取締役)

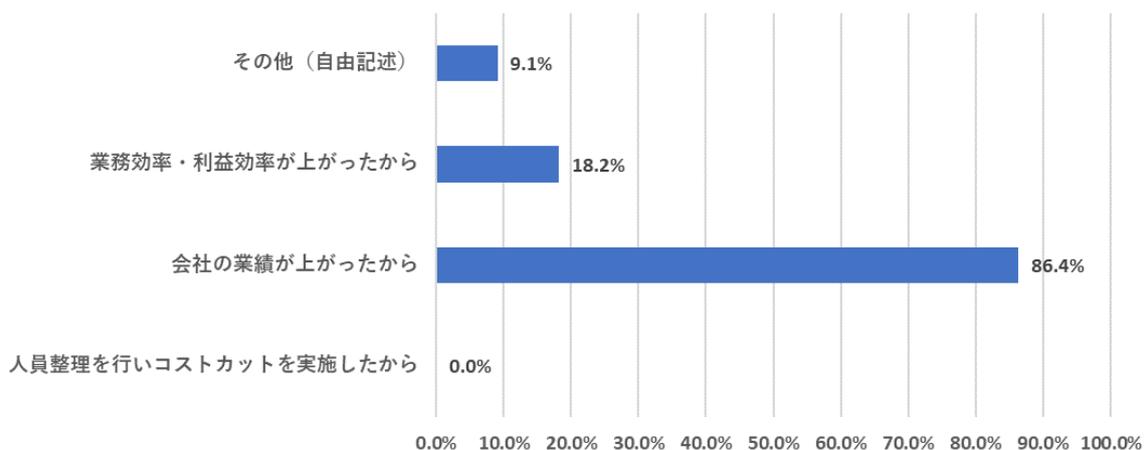


昨年冬のボーナスとの増減について聞いたところ、「全体的に増加した・増加する」が55.0%と、過半数が増加したことが明らかに。次点で「変わらない」が32.5%、「全体的に減少した・減少する」が12.5%という結果になった。

◇支給額が上がった理由として、「会社の業績が上がったから」が最多の86.4%

Q5. 増加した理由は何だと思いますか？（MA）

対象：Q4について「全体的に増加した・増加する」と回答した方（n=22）



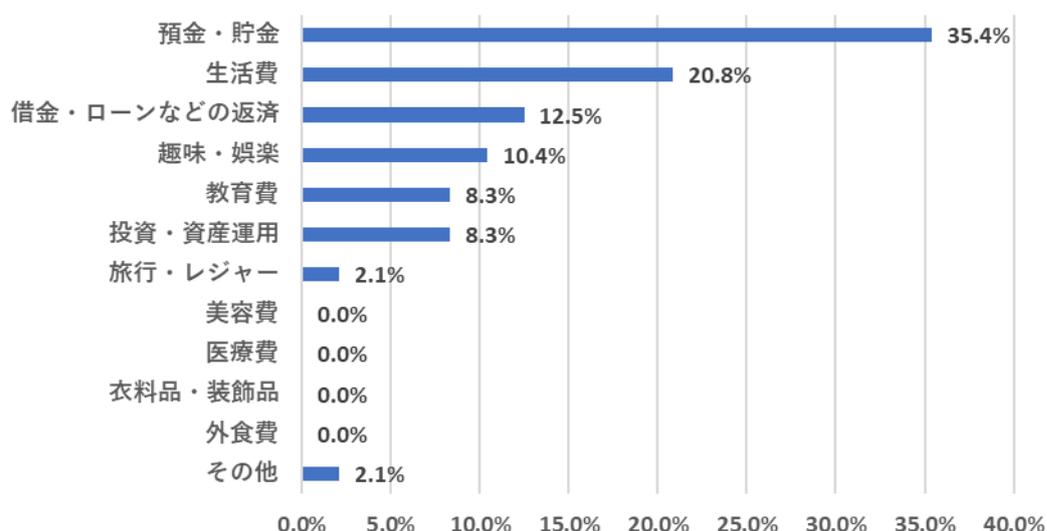
昨年冬のボーナスと比較してボーナス支給額が増加したと回答した方にその理由を聞いたところ、「会社の業績が上がったから」が86.4%で最多となった。次点で「業務効率・利益効率が上がったから」が18.2%、「その他（自由記述）」が9.1%、「人員整理を行いコストカットを実施したから」は0%という結果になった。「その他（自由記述）」については「人員確保のため」や「従業員の増加に伴って作業効率が上がったため」などの回答があった。

◇ボーナスの使い道、「預金・貯蓄」が最多の35.4%

「生活費」が40.7%で最多となった昨年の冬と比較して、貯蓄の傾向が強まる

Q6. ボーナスの使い道をお答えください。（SA）

対象：Q1について「支給された」「まだ支給されていないが、支給される予定で支給額も把握している」と回答した方（n=48）



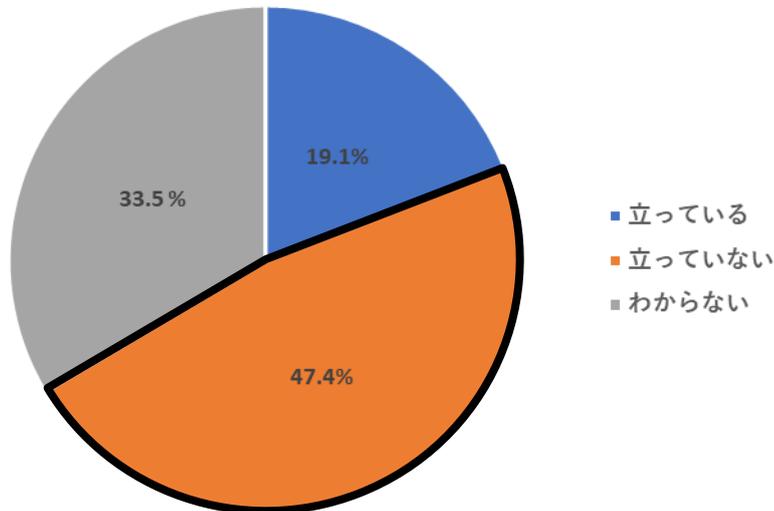
冬のボーナスの使い道について聞いたところ、最多は「預金・貯蓄」で35.4%となり、「生活費」が40.7%で最多となった昨年度の冬のボーナス調査と比較して、ボーナスを貯蓄に回す傾向が強まっていることが分かった。次点で「生活費」の20.8%、「借金・ローンなどの返済」が12.5%、「趣味・娯楽」が10.4%と続いた。

TOPICS③ 来年夏のボーナスの支給見込み、見通しが立っていない経営者が47.4%

◇来年夏のボーナスの支給見込み、経営者の47.4%が立っていない

Q7. 来年度のボーナスに対して支給の見込みが立っていますか？ (SA)

(n=152/対象=代表取締役)



経営者に対して来年度の支給見込みについて聞いたところ、「立っていない」の回答が最多の47.4%。次いで「わからない」が33.5%、「立っている」の回答が19.1%となった。

【フリーウェイ給与計算】

フリーウェイ給与計算は永久に無料でご利用いただける給与計算ソフトです。

クラウド型教務システムのイメージ調査では2019年に、価格満足度・顧客満足度・サポート充実度で1位を獲得しています。

◇特徴

- ・インストールもバージョンアップ（アップデート）も全て無料
- ・無料で使える期間に制限なし
- ・2022年10月現在、累計ユーザー数は9.1万を突破

ずっと無料の給与計算ソフト

フリーウェイ給与計算

従業員5人までなら永久無料。6人以上なら何人でも月額1,980円です。

*** 価格満足度 No.1 クラウド型業務システム

*** 顧客満足度 No.1 クラウド型業務システム

*** サポート充実度 No.1 クラウド型業務システム

○調査方法: インターネット調査 ○調査期間: 2019年9月20日～24日 ○調査概要: クラウド型業務システム10サービスを対象にしたサイト比較イメージ調査
○調査対象: 全国の20代～50代の男女(経営者・経理担当対象)1119名 ○アンケートモニター: 提供元:ゼネラルリサーチ

【株式会社フリーウェイジャパン】

フリーウェイジャパンは、会計・給与計算・勤怠管理などバックオフィス系業務をサポートするクラウド型サービス「フリーウェイシリーズ」の開発・提供を主な事業とする企業です。

中小企業の業務をサポートすることが、日本経済の活性化につながるという信念のもと、起業家・フリーランスなどの小規模事業者を対象に「永久無料」でサービスを利用できる仕組みを実現しています。

【会社概要】

会社名 株式会社フリーウェイジャパン
代表者 代表取締役 井上 達也
設立 1991年3月19日
資本金 3,205万円
企業URL <https://freeway-japan.com/>